

ます。

d 発言者や聞く側の態度に関する注意

発言者が議事から逸れた発言をした場合にはそれを注意したり、聞く側の態度が悪ければ注意したりするのも司会者の大事な仕事です。

◆ 副司会の仕事

a 司会者の補佐

副司会者の一番の仕事は、司会者の補佐です。司会者が議事を進行していく際に、いろいろな相談に乗ったり、必要に応じて司会者に注意を促したりもします。

b 採決時の数の確認

ある意見についての支持数を確認する場合に挙手を促すことがあります。その数の確認を行います。

c 時間の計測

時間を確認しながら、司会者に知らせるということも大事な仕事です。

d 発言者の記録

できるだけ多くの子どもたちに意見を述べさせるために、発言者の記録をとっていきます。そして必要に応じて司会者にまだ発言していない児童の名前を教えます。

(2) 書記の役割

書記には、「黒板書記」と「ノート書記」があります。それぞれ、次のような仕事があります。

〈黒板書記〉

話合いの始めに「話し合うこと確かめ」をします。今日の話合いの柱を全員に伝える仕事です。

話合いの中では「自分の言葉で、短くまとめて、決まったことを分かりやすく書く」というのが大切な役割です。

〈ノート書記〉

話合いの終わりに「決まったこと確かめ」をします。話合いで決まったことをまとめて全員に知らせるという仕事です。

話合いの中では、記録に残るものとして「まとめながらていねいに書く」ようにさせます。

2 卒業式前100日記念日～6年生の担任の先生方へ

山口市立平川小学校 梶田崇晴

今回は、6年生の担任をされている方限定の提案をさせていただきます。

この実践は、スギタが6年生を担当したときには必ず実践していたものです。

我が平川小の平成18年度卒業式は平成19年3月20日です。この日から数えると、10月12日は、6年生の子どもたちにとって「卒業式前100日目」とい

う記念日となります。そこで、この日、学級活動「これからの自分（仮称）」を行いませんか、という提案です。

本時のねらいは、次の2点です。

(1) 卒業までに残された日にちが限られていることを知り、これまでの過ごし方を

振り返ることから、これからどのように過ごしていけばいいのかを考えることができるようにする。

(2) 自分の考えを持って話し合いに参加できるようにすると同時に、みんなの考えを

出し合うことでよりすばらしい考えができることを味わわせる。

ここでは、残された100日をどのように過ごすことが自分にとって、また我が母校にとって大切かを考えさせることをねらいとします。

私は、次のように進めていました。

【授業の流れ】

1 文字合わせゲームをします

※事前に、文字合わせゲームで使用する牛乳瓶のふたを準備します。文字数は「そつぎようしきまえひやくにちきねんぴ」の18文字ですから、 $[18 \times \text{学級の班の数}]$ 枚のふたを用意しておきます。

牛乳瓶のふたでつくっておいた文字合わせゲームを班対抗で競わせます。時間は長くても10分くらいです。

ゲーム終了時に、その日が卒業式前100日記念日であることを確認します。

2 これまでの日数とこれからの日数を視覚的に比較し、感じたことを交流させます。

小学校でこれまで過ごしてきた日にち（要録の「授業日数」のところで確かめることができます）と、これから過ごす日にち（100日）を比べさせます。数直線を使って視覚的に比較できるようにするとよいようです。

そのことによって、残された日がとても短いことを自覚させ、これからの過ごし方をいい加減なものにしたいくないというプラスの思いを高めさせます。

これまで過ごしてきた日に点数をつけさせる方法もあるようです。

3 これからの100日間、自分はどのように過ごしていきたいかを考えさせます。学級目標やこれまで取り組んできたことを想起させ、これからのことを考えていけるように助言します。この時、「個人として」という視点と「学級・学校をよりよいところにしていくために」という視点で考えさせるとよいと思います。学級・学校のことについては、個人で考えたことを班で意見交換させるとよいと思います。

4 最後に自分で決めたことをプリントに書き、署名します。

このプリントは、掲示物として活用できます。参観日の掲示物にぴったりです。

****プラスαメニュー****

この実践のあと、みんながこれからのことをしっかり考えたことを記念して、100日前記念イベントを行うことを告げます。

100のあとにいろいろな単位をつけてゲームを考えます。子どもたちに呼びかけてゲームやイベントを募集すれば、けっこうおもしろいもの集まりますよ。

例) 教室の中から100gをさがそう 100歩でどこまでいける？

漢字100字を覚えよう 100秒を当てよう

ことわざ100編を知ろう

などなど

このイベントから、「卒業までに100人に親切にしよう」とか「卒業までに友だちのいいところを100個見つけよう」などのような、『卒業までに』取組みも生まれたこともあります。

この授業を、総合的な学習として授業につないでいくのもよいかと思います。その場合は、これまでの自分を振り返ることを自分史づくりにつなげますし、これからの自分を考えることは、3学期の総合につなげますし、同時に、キャリア教育の一環としても実践可能だと考えます。

3 メルマガ情報交換広場

特別活動ネットワーク研究会「希望の会」 第2回研究会のご案内

日 時：11月 3日（金） 文化の日

場 所：埼玉県労働会館（講堂） <http://www.rokan.jp/>
048-832-2151

時 間：受 付 13:00～13:15

研究会 13:15～17:00

食事会 17:30～19:30

※ 食事会の場所・料金については未定です。

内 容：1 異年齢集団活動について

(予定) 2 学級活動の低中高の発達段階に応じた指導について

3 学級活動のテキスト（教科でいうところの教科書）について

方 法 ・上記の内容についてのワークショップ形式の研究会とします。

・3つのグループに分けて話し合います。

参加費 500円

<申し込み>

メール tokubetsukatsudo@hotmail.co.jp
F A X 0 4 8 - 6 8 4 - 8 9 6 4 (蓮沼小)

※ 締め切り日 10月20日(金)

「希望の会って何だ? どこかの宗教団体か?」と思われた方もおられるのではないかと思います、若干説明をさせていただきます。

「希望の会」とは、子ども達、教職員、保護者、そして教育に携わる全ての人々が特別活動を通して希望をもつことができるようにという願いを込めて、この7月に設立された研究会です。文部科学省の杉田教科調査官との連携を密にしながら、特別活動を大切に考えている教育実践者のネットワークを構築し、互いに情報交換等を通して実践の質を高め、実践の輪を広げていこうとするものです。決していかがわしい会ではありませんので、ご安心ください。

このたび、埼玉の方で会が行われますが、遠くて参加できない!という人は、メールでの参加も可能だということです。

この会は、年に数回、杉田教科調査官とともに特別活動の研究会を行われるのですが、普段は、主にメール・電子掲示板等で会員相互の情報を交換するといった、既存の研究会とは違った取り組みをされているのです。

学級活動メルマガの読者のみなさん、「希望の会」に登録しませんか? 登録希望の方は下記アドレスまでメールを入れてください。よろしくお祈いします。

4 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第15号は10月中旬ごろ発行予定です。

次号では、「子どもが主体的に取り組む話し合い活動その6～司会者に身につけさせたい力量～」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は106名です。少しずつ購読者が増えてきています。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は sugi-net@c-able.ne.jp まで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴 (山口市立平川小)

津村元文 (防府市立西浦小)

能勢雅子 (山陽小野田市立高千帆小)

吉田哲朗 (山口大学附属山口小)

=====